授業科目名	美容実習　２		科目コード	1501010	
開講クラス	美容昼間課程専門科	コース	コース	学　年	１、２年
担当教員	山内亜希子・川端夏代・花房友美・大田川一輝・井ノ久保優太・鬼丸真歩				
	実務経験教員（　有　） 実務経験内容 山内亜希子　美容師 平成 10 年　美容師免許取得 平成１５年　美容実習教員資格取得 川端夏代　美容師 平成 12 年　美容師免許取得 平成 16 年　美容実習教員資格取得 花房友美　美容師 平成 24 年　美容師免許取得 令和３年　美容実習教員資格取得 大田川一輝　美容師 平成 27 年　美容師免許取得 令和６年　美容実習教員資格取得 井ノ久保雄太 平成 24 年 美容師免許取得 平成 24 年～平成 30 年１月　美容室勤務（６年） 令和４年～　美容室経営（現在に至る） 鬼丸真歩　美容師 平成 25 年　美容師免許取得				
開講時期	前期・後期・(通年)・特別講義・その他		授業コマ数	４５０時間	
	必　須　・　選　択　・　選択必須		単　位　数	１５単位	
使　用 テキスト１	書　名	美容実習２			
	著　者	社団法人　日本理容美容教育センター			
	出版社				
使　用 テキスト２	書　名				
	著　者				
	出版社				
参考図書	改正美容師実技試験課題　衛生と技術の解説				
授業形態	講義　・　演習　・　(実習)　・　実験　・　その他（　　）				

＜授業の目的・目標＞
美容技術の基本動作を習得させ、国家試験課題であるノーパート 7 段構成を合格レベルに達する。11 月の国家試験課題発表後は第 1 課題のカットと第 2 課題の課題のみをし、美容師国家試験に合格させる。

＜授業の概要・授業方針＞ 美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得させる。又、基本的操作を確実に身につけるために反復練習させ、これらの基本的操作を適宜組合わせてスタイルを完成させる力を身につけさせる
＜成績基準・評価基準＞ 授業における理解度・習熟度を見極め、認定試験を実施し評価する
＜使用問題集・注意事項＞
＜授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他＞ 美容理論

授業科目名	美容実習　２	
回	授　業　内　容	備　考
1～10	ビューティショー企画、グループ別ミーティング	
11～20	企画書作成（ヘアー・メイク・ファッション）	
21～50	作品作成、練習、準備等	
51～60	ビューティショー	
61～80	ウエーブ用ウィッグパーマ・カット施術	
81～100	ローションの作り方、ローション塗布の仕方 コームの持ち方、動かし方、	
101～120	フィンガーウェーブの作り方	テキスト １Ｐ 120
121～140	リッジの作り方	
141～160	ノーパートフィンガーウェーブ７段構成、作り方	テキスト １Ｐ 126
161～190	クロッキノールの作り方	テキスト １Ｐ 112
191～210	ノーパートフィンガーウェーブ７段構成（40 分）	
211～230	ノーパートフィンガーウェーブ７段構成（30 分）	
231～250	ノーパートフィンガーウェーブ７段構成（20 分）	
251～270	ノーパートフィンガーウェーブ７段構成（15 分）	

271～300	スカルプチュアカールの作り方	テキスト １Ｐ108
301～310	ノーパートスキップウェーブ７段構成、作り方	
311～320	ノーパートスキップウェーブ７段構成（30 分）	
321～330	ノーパートスキップウェーブ７段構成（20 分）	
331～340	右リフトカール・左リフトカールの作り方	テキスト １Ｐ110
341～350	メイポールカールの作り方	テキスト １Ｐ106
351～370	国家試験課題　ノーパート７段構成、作り方	衛生と技術の解説
371～380	ノーパート７段構成（40 分）	
381～390	ノーパート７段構成（30 分）	
391～430	国家試験対策授業	衛生と技術の解説
431～450	認定試験	